

図27. 地域別肝炎ウィルス検査の実施している事業所の肝炎労働者の割合 (%: 肝炎労働者数/一般健診受診者数) (n=54)

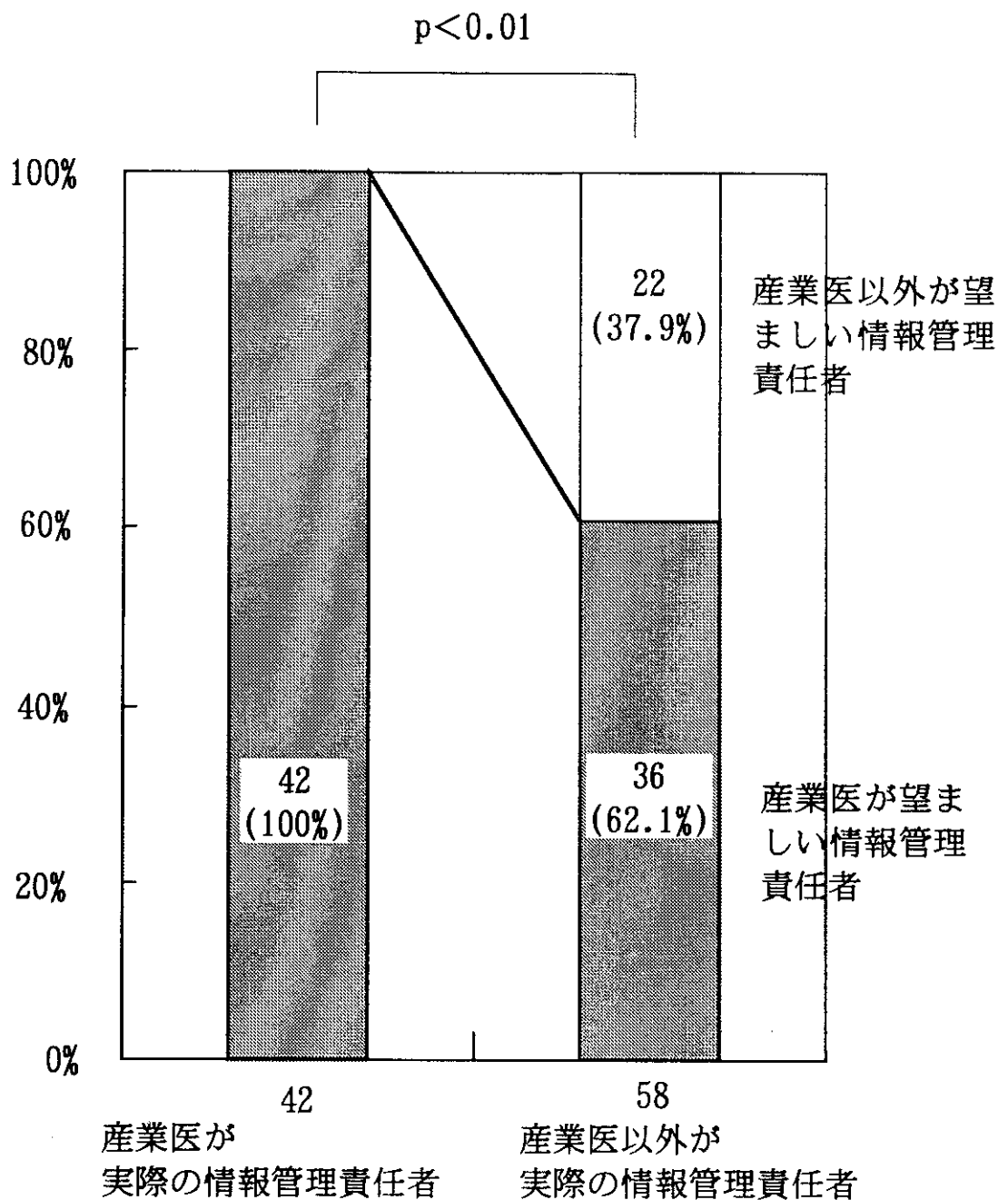


図28. 肝炎労働者の「実際の情報管理責任者」と「望ましいと考えられる情報管理責任者」
(n=100)

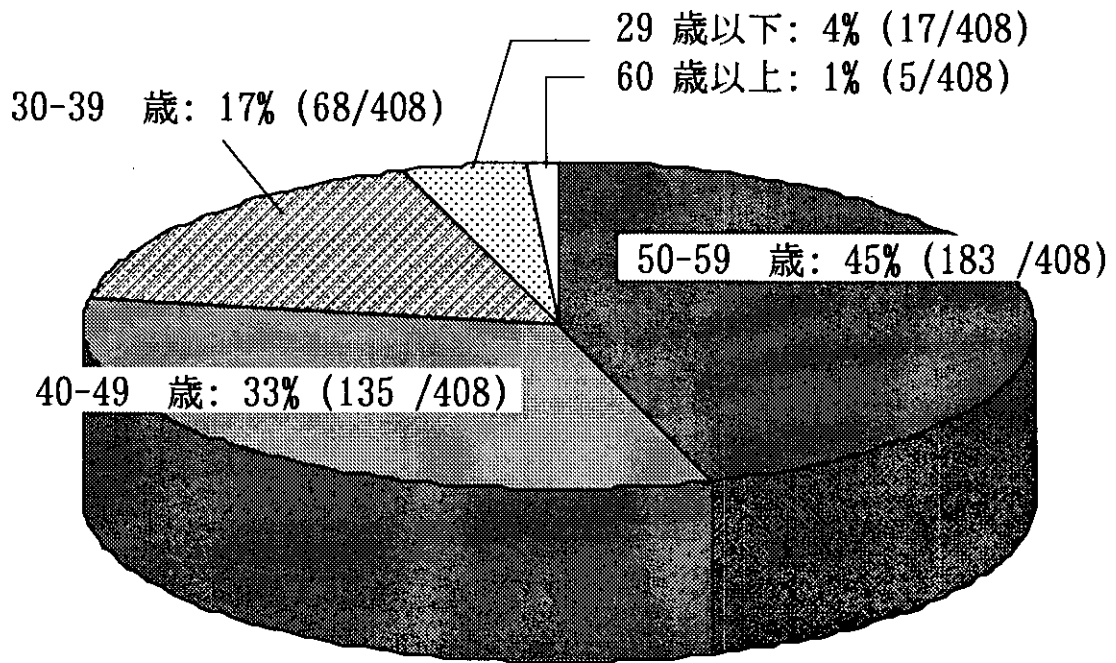


図29. 肝炎労働者の年齢 (n=408)

女性: 10.4%(42/404)

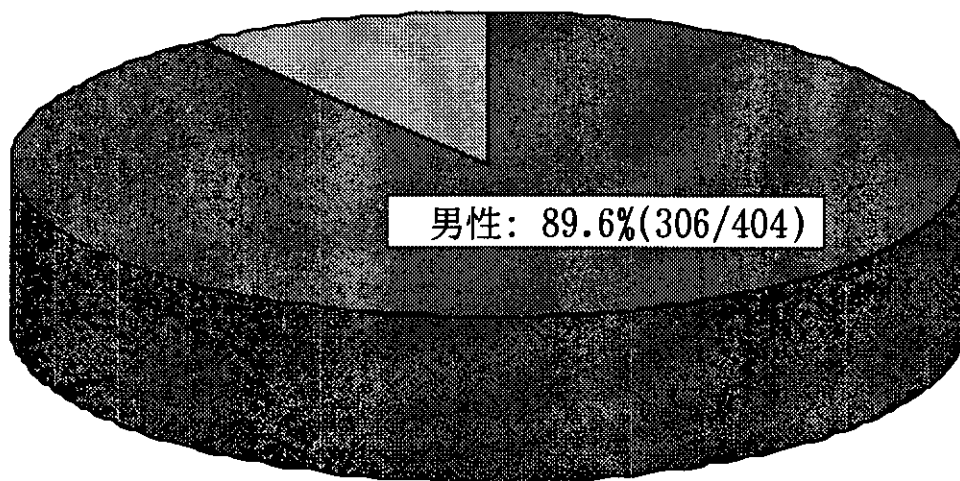


図30. 肝炎労働者の性別 (n=404)

B型およびC型: 0.5%(2/403)

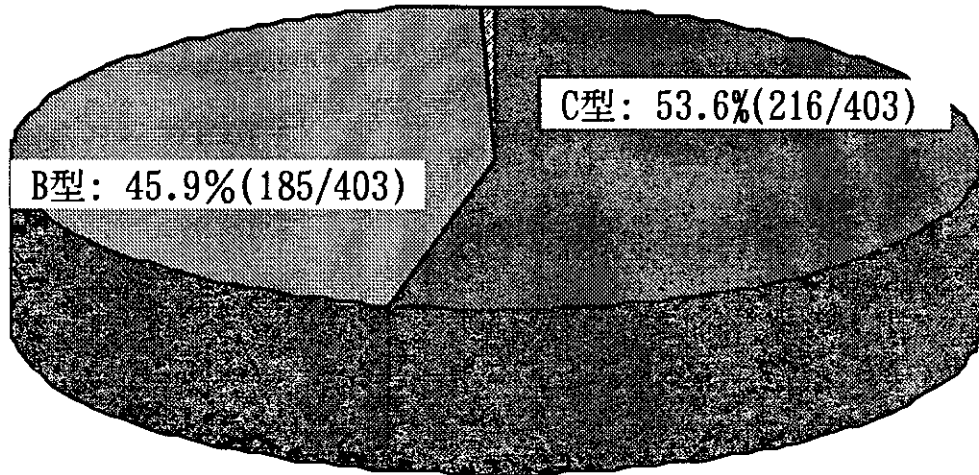
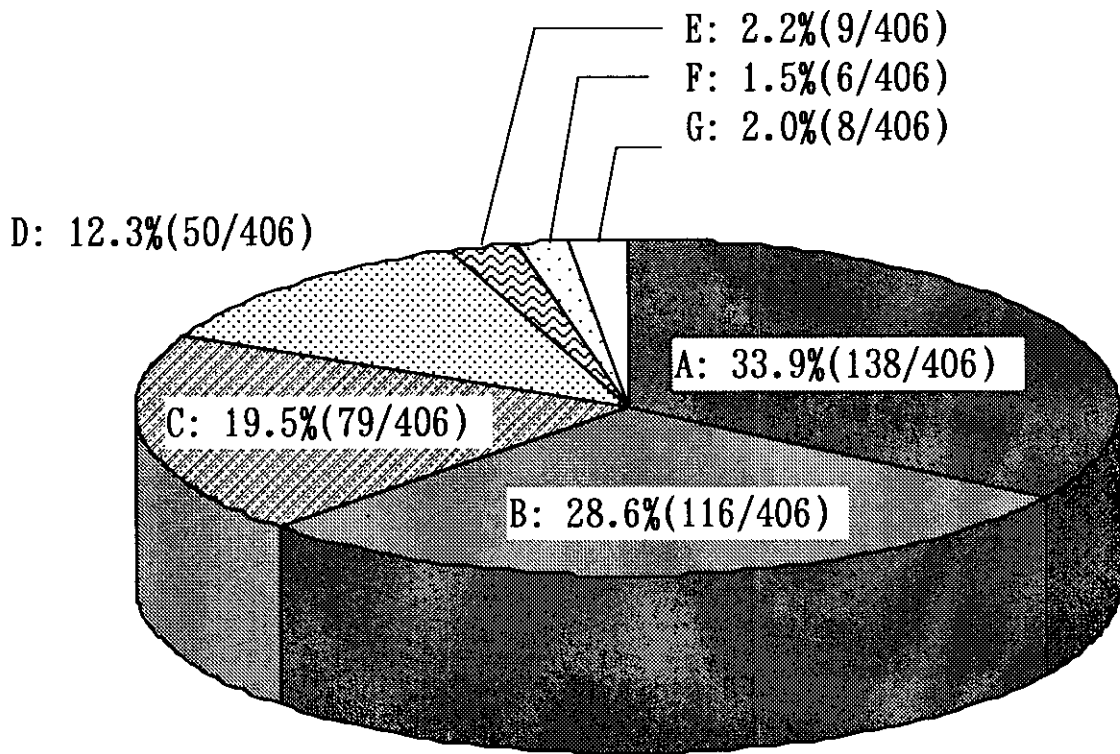


図31. 肝炎ウイルスの種類 (n=403)



- A: 会社(事業所)における肝炎ウイルス健診
- B: 本人からの報告あるいは個人的健康相談
- C: 健康診断で肝臓の精密検査を指導され、医療機関を診したため
- D: 健康診断時の本人からの申告(既往歴、現病歴など)
- E: 会社担当者からの報告
- F: 社内の人間ドッグおよび診療所
- G: 不明

図32. 産業医や健康管理スタッフがB型・C型肝炎ウイルスに感染していることを最初に知った理由 (n=406)

肝硬変・肝癌: 4.2% (17 / 407)

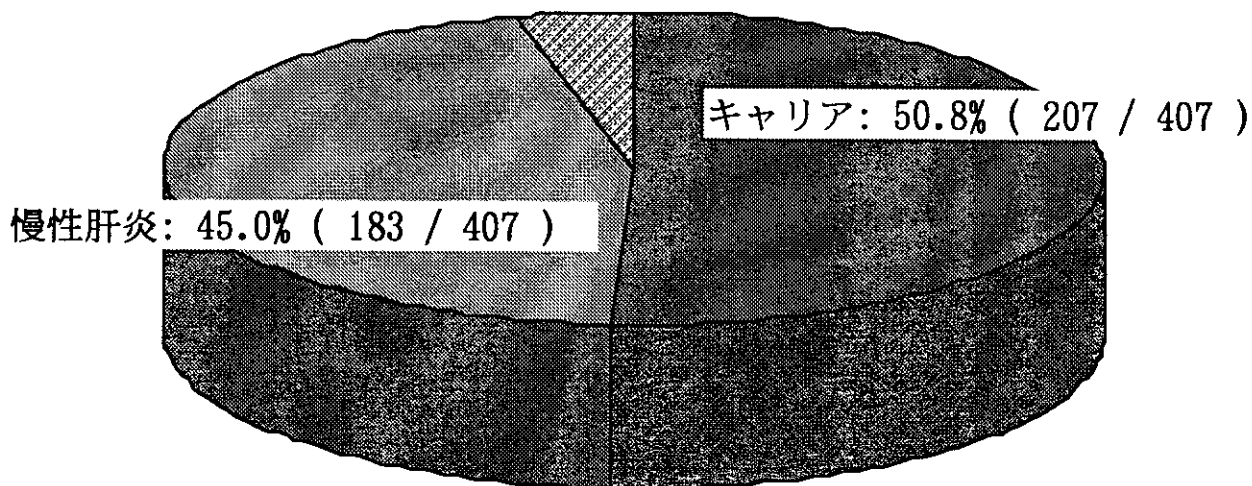


図33. 肝炎労働者の病状 (n=407)

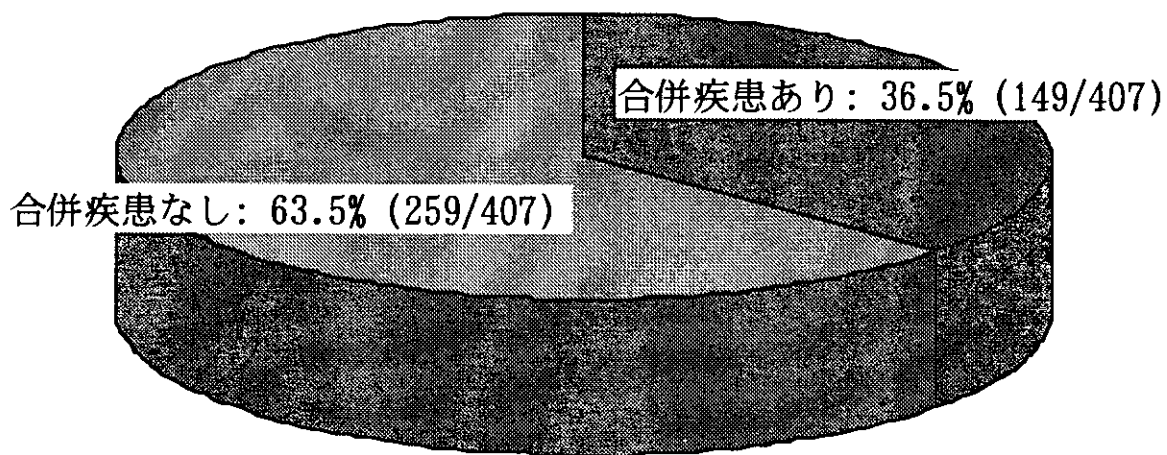


図34. 肝炎労働者の合併疾患の有無 (n=408)

(人数)

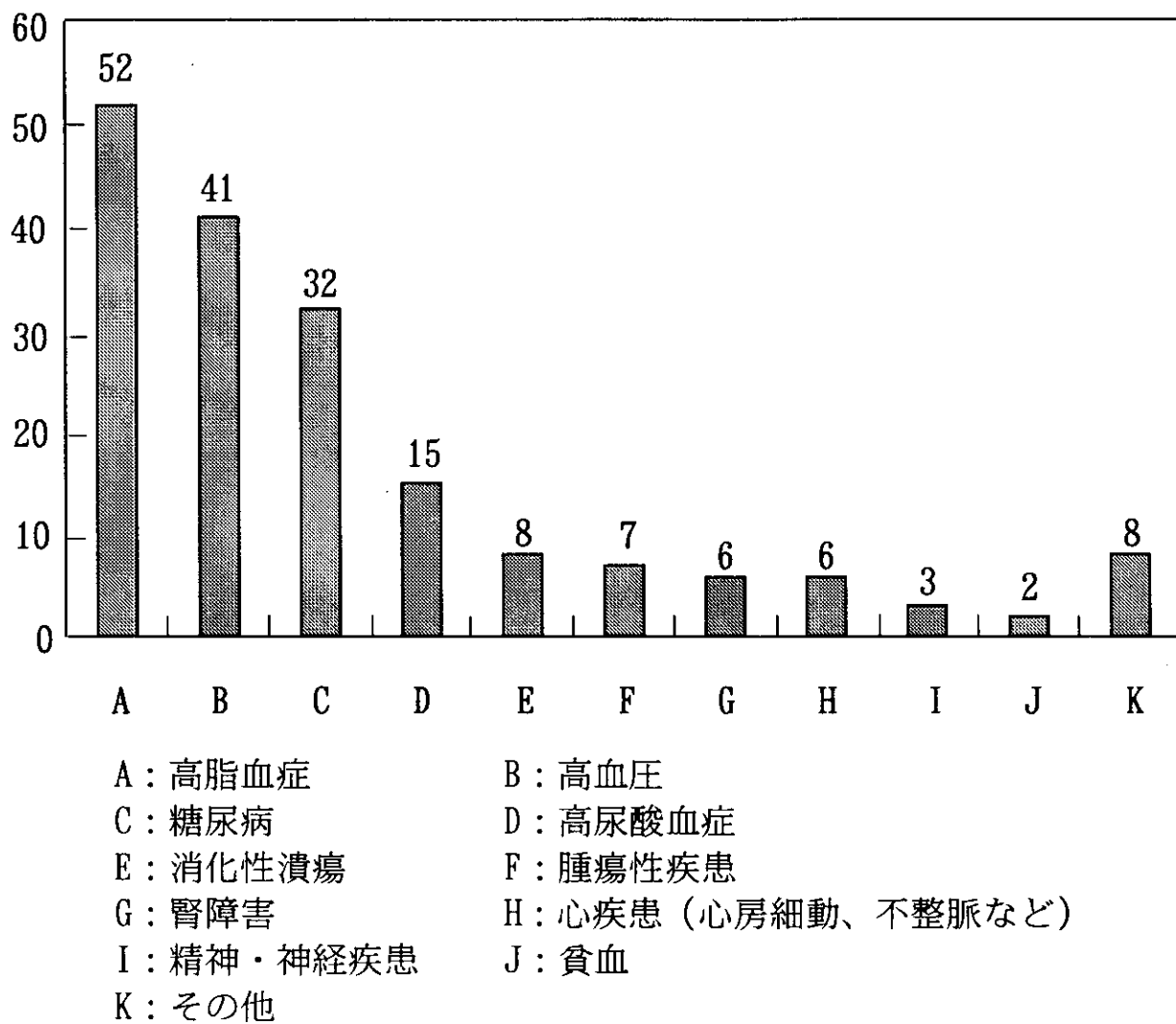


図35. 肝炎労働者の合併疾患
(複数の合併疾患を有する例あり)

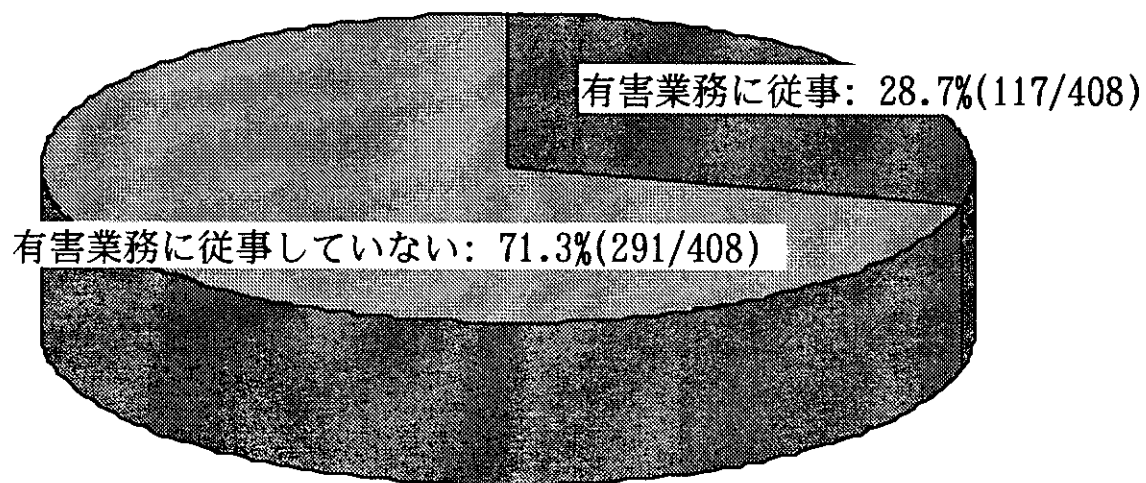
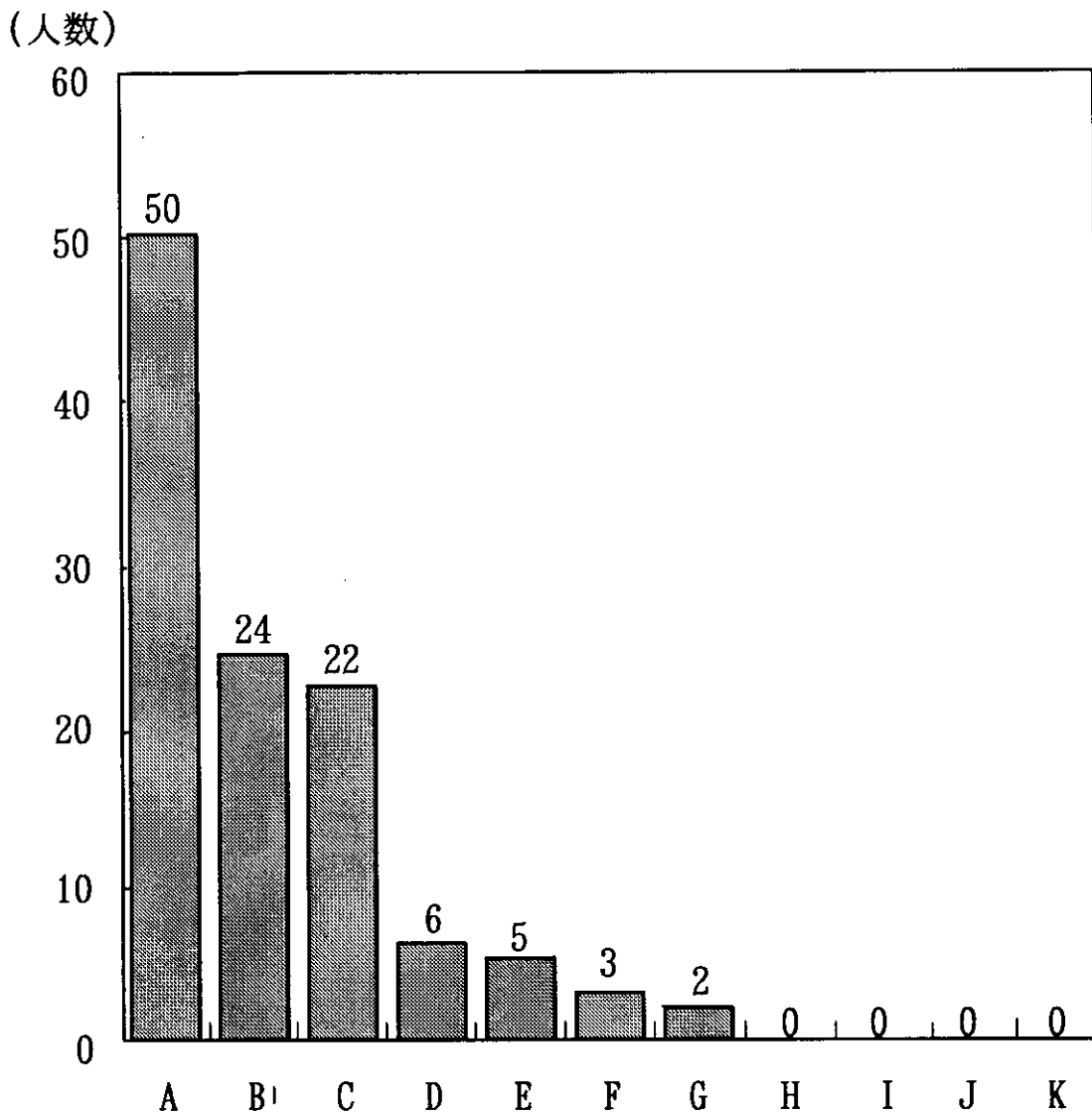
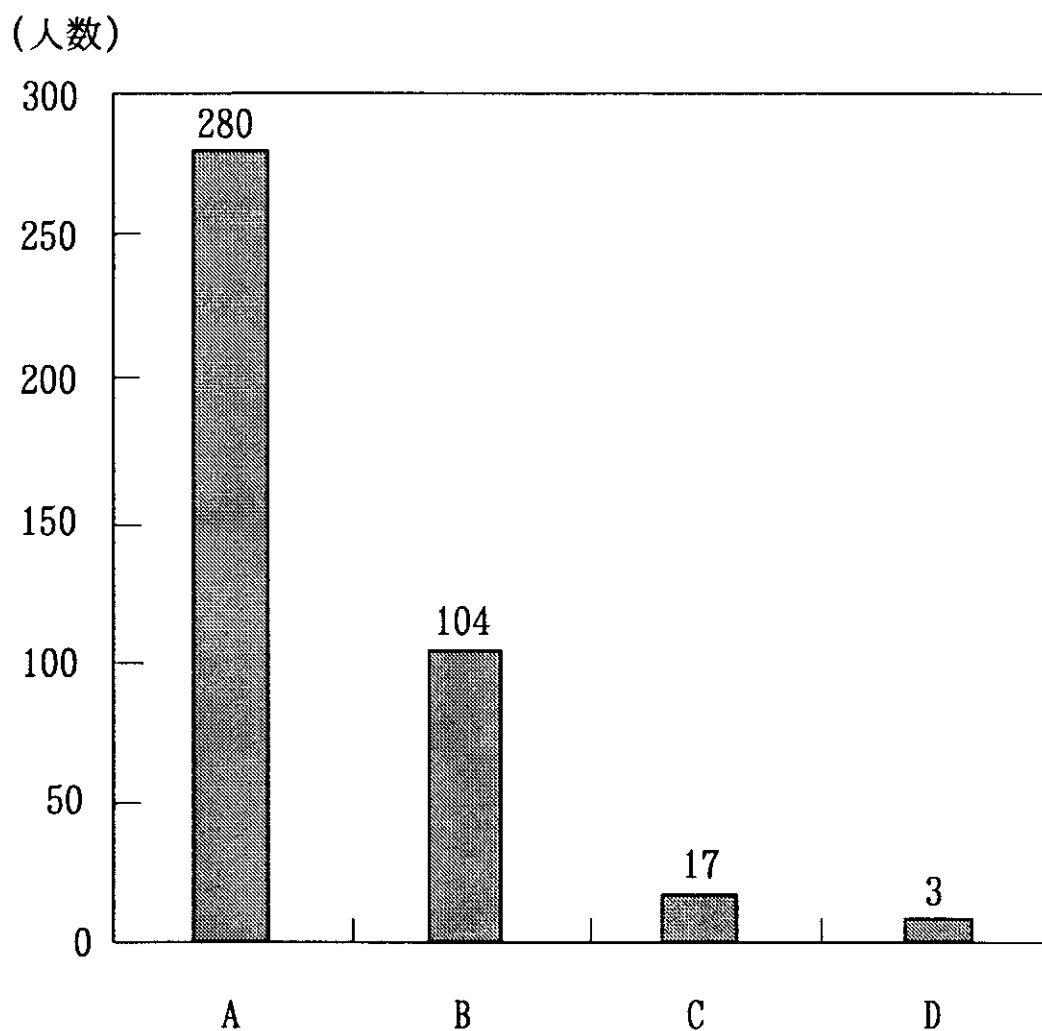


図36. 肝炎労働者の有害業務従事 (n=408)



- | | | |
|-----------|------------|----------|
| A : 深夜業務 | B : 有機溶剤 | C : 騒音 |
| D : 粉塵 | E : 特定化学物質 | F : 鉛 |
| G : 電離放射線 | H : 暑熱寒冷 | I : 異常気圧 |
| J : 振動 | K : 重量物 | |

図37. 肝炎労働者の有害業務 (n=112、不明-5)



- A : 定期的に経過観察、健康相談を行っている
- B : 特別な指導はしていない
- C : 就業制限をしている
- D : 配置転換を行った

図38. 肝炎労働者に対する健康・就業指導
(n=404)

「職場における肝炎労働者への就労・健康管理上の対応についての実態調査」

へのご参加のお願い

〈研究課題名〉 厚生労働科学研究事業

「職場における慢性肝炎の憎悪要因（化学物質曝露等）及び健康管理に関する研究」

〈研究期間〉 平成 15 年 2 月 - 平成 18 年 1 月

日本における肝疾患患者数は厚生労働省調査によれば約 46 万人、B型ウイルス キャリアは 120-140 万人、C型肝炎ウイルスキャリアは 100-200 万人と推測されています。現在、肝疾患患者およびキャリアの多くが仕事に従事していますが、労働負荷と肝炎増悪についての科学的なデータはほとんどありません。本研究では作業関連要因と慢性肝炎の増悪との関連を科学的に解明することで肝炎労働者にたいする適切な健康管理のあり方に関する提言を行うことを目的として、産業医の先生方にアンケートを依頼し、肝炎労働者の実態を解析することで肝炎労働者の健康と人権を守ることに寄与したいと考えています。

本アンケートは

- I B型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する産業医へのアンケート
(1部)
- II 産業医の把握しているB型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する調査票 (A4 1枚×3人分)

で構成されたものが、2事業所分入っています。

産業医の先生方にご参加いただくことによって、より実態に即した肝炎労働者に対する産業医活動の現状把握が可能となります。本研究にてご回答いただいた情報は厳重に管理され、個人名や所属事業所名は特定できないように番号化（連結不可能匿名化）して解析を行います。したがって、漏洩されることは決してありません。ご参加いただいた産業医の先生には、調査結果を取りまとめた結果報告書をお送り致します。

どうかご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

研究実施責任者：川本 俊弘（かわもと としひろ）

産業医科大学 医学部 衛生学教室

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

(TEL: 093-691-7429 FAX: 093-691-9341)

「職場における慢性肝炎の憎悪要因（化学物質曝露等）及び健康管理に関する研究」

職場における肝炎労働者への就労・健康管理上の 対応についての実態調査票

本調査票は、作業関連要因と慢性肝炎の増悪との関連を科学的に解明し、肝炎労働者（B型・C型肝炎およびキャリアである労働者）に対する適切な健康管理のあり方に関する提言を行うことを目的に、産業医の先生方を対象として調査するために使用するものです。

回答いただいた個人名や所属事業場が特定できるような集計・解析を行うことはいたしません。どうかご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

- 調査内容： I B型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する産業医へのアンケート
(1部)
- II 産業医の把握しているB型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する調査票 (A4 1枚×3人分)
の2事業所分

- 記入方法： I、IIに関しては一つの事業所につき1部回答して下さい。
- IIの個別肝炎労働者調査票は3人分用意しています。それぞれの事業所で把握しているB型およびC型肝炎労働者一人一人についてお答え下さい。肝炎労働者が3名以上おり、追加が必要な場合はコピーして使用し、それぞれの事業所に関するIのアンケートに付けて返却して下さい。
- 3ヶ所以上の事業所を担当されている場合は、アンケート用紙をコピーして使用して下さい。

記載が完了されましたら、同封の返信用封筒でご下記宛に返送いただけましたら幸いです。

研究実施責任者：川本 俊弘（かわもと としひろ）
産業医科大学 医学部 衛生学教室
〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
(TEL: 093-691-7429 FAX: 093-691-9341)

アンケート I

B型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する産業医へのアンケート

該当する番号 (①、②、・・・) に○をつけ、() には具体的事項をお答え下さい

A. 事業所の産業医 (あなた自身) について当てはまるものを回答下さい。

(1) あなたは専属産業医ですか嘱託産業医ですか？

- ① 専属産業医 ② 嘱託産業医

(2) あなたは肝疾患を専門とされていますか？

- ① はい ② いいえ

B. あなたの事業所について当てはまるものを回答下さい。

() には具体的名称または人数をお答え下さい。

(1) 従業員数

- ① 50名以下 ② 51～100名 ③ 101～1000名 ④ 1000名以上

(2) 業種

- ① 建設業 ② 製造業 ③ 運輸業 ④ 医療福祉関係
⑤ サービス業 ⑥ その他 ()

(3) 一般健診受診者数

(男 名、 女 名、 合計 名)

C. あなたは担当している事業所においてB型およびC型肝炎労働者を何人把握していますか？

(*お手数ですが可能な限り教えて下さい)

B型 (名)、 C型 (名)

D. あなたが担当している事業所におけるB型・C型肝炎およびキャリアである労働者への対応について質問します。

(1) B型・C型肝炎およびキャリアである労働者に対し、健康相談や健康指導を実施していますか？

- ① していない ② している

(2) (1) で「している」と答えた方だけ回答して下さい

どのようにして経過観察または指導をしていますか？（複数回答可）

- ① 産業医が自ら検査を行い、積極的に健康指導を行っている
- ② 医療機関との連携をとり、健康指導している
- ③ 医療機関に一任し、肝炎労働者からの自己申告を受けるだけである

(3) B型・C型肝炎およびキャリアである労働者から産業医はどのような相談・質問を受けま
すか？（複数回答可）

- ① 薬物等の治療を含む肝炎全般に関する相談・質問
- ② 医療機関受診の便宜についての相談・質問
- ③ 食事、休養などの私生活に関する相談・質問
- ④ 労働負荷と肝炎増悪との関係についての質問
- ⑤ 仕事量・作業内容についての相談・質問
- ⑥ 職場内感染に関する相談・質問
- ⑦ その他（ ）
- ⑧ 質問を受けたことがない

E. 肝炎ウィルスの検査について質問します。

(1) 事業所で肝炎ウィルスの検査を実施していますか？

- ① 実施している
- ② 実施していない

(2) (1) で「実施している」と答えた方だけ回答して下さい

検査の対象とする肝炎ウィルスは何型ですか？（複数回答可）

- ① B型のみ
- ② C型のみ
- ③ B型およびC型
- ④ その他（ ）

肝炎ウィルス検査は誰を対象としていますか？（複数回答可）

- ① 従業員全員
- ② 希望者
- ③ 肝機能検査異常者
- ④ 特定の年齢
- ⑤ 人間ドック受診者（受診者の選び方： ）
- ⑥ その他（ ）

肝炎ウィルス検査の費用はどこが負担していますか？（複数回答可）

- ① 事業所（会社）または健康保険組合が全額負担
- ② 事業所（会社）または健康保険組合が一部補助
- ③ 自己負担（医療保険の補助を含む自己負担）
- ④ 老人保健法に基づく国と地方自治体からの補助
- ⑤ 生活習慣病予防検診における政府管掌健康保険からの補助
- ⑥ その他（具体的に： ）

定期健診時

- ① はい ② いいえ

「はい」の場合の具体的内容を1～2例お書き下さい

()

職場復帰時：

- ① はい ② いいえ

「はい」の場合の具体的内容を1～2例お書き下さい

()

- (3) B型・C型肝炎およびキャリアである労働者が配置転換や残業禁止等の就業制限措置を拒否したケースのご経験はありますか？

- ① はい ② いいえ

「はい」の場合の具体的内容を1～2例お書き下さい

()

- (4) B型・C型肝炎およびキャリアである労働者が就労上の不利益または差別を受けたと考えられるケースのご経験はありますか？

- ① はい ② いいえ

「はい」の場合の具体的内容を1～2例お書き下さい

()

- (5) B型・C型肝炎およびキャリアである労働者の就労制限に関わる報告を会社にするとき、事前に本人に確認をとっていますか？

- ① はい ② いいえ

- (6) (5)で「いいえ」と答えた方だけ回答して下さい

B型・C型肝炎およびキャリアである労働者の就労制限に関わる報告を会社にするとき、事前に本人に確認をとらないのはどうしてですか？

- ① 既に会社の人事・労務担当者等が知っていることが多い
② 本人が産業医より先に上司や人事・労務担当者等に連絡することが多い
③ B型およびC型肝炎労働者に関してはまず会社側が把握する必要があるため
④ 就業制限に関する情報なので本人に事前に報告する必要はないと考えるため
⑤ その他 ()

- (7) B型およびC型肝炎ウイルスに感染していることを就労制限を行うため会社に報告する必要があるとき、本人が感染しているのを会社に報告することを拒否したケースの経験はありますか？

- ① ある ② ない

「ある」の場合のケースを具体的にお書き下さい

()

アンケートⅡ

産業医の把握しているB型・C型肝炎およびキャリアである労働者に関する調査票

該当する番号（①、②、・・・）に○をつけ、（ ）には具体的事項をお答え下さい

症例1番

- (1) 年齢： ① 29歳以下 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50～59歳 ⑤ 60歳以上
- (2) 性別： ① 男 ② 女
- (3) 肝炎ウイルスは何型ですか？
① B型 ② C型
- (4) 産業医（あるいは健康管理スタッフ）がB型・C型肝炎ウイルスに感染していることを最初にどのようにして知りましたか？
① 本人からの報告あるいは個人的健康相談
② 健康診断時の本人からの申告（既往歴、現病歴など）
③ 健康診断で肝臓の精密検査を指導され、医療機関を受診したため
④ 会社（事業所）における肝炎ウイルス検診
⑤ 会社担当者からの報告
⑥ その他（ ）
⑦ 不明
- (5) 現在の肝炎の病状をお答え下さい
① キャリア ② 慢性肝炎 ③ 肝硬変・肝癌
- (6) 現在の肝炎以外の合併疾患についてお答え下さい
① なし ② 糖尿病 ③ 高脂血症
④ その他（ ）
- (7) 本症例の労働者は現在、有害業務に従事していますか？
① はい ② いいえ
- (8) (7)で「① はい」と答えた人だけ回答して下さい
有害業務を下記の中からお選びください（複数回答可）
① 有機溶剤（有機溶剤名： ）
② 特定化学物質（特定化学物質名： ）
③ 鉛 ④ 粉塵 ⑤ 電離放射線 ⑥ 暑熱寒冷 ⑦ 異常気圧
⑧ 振動 ⑨ 重量物 ⑩ 騒音 ⑪ 深夜業
- 特殊健康診断の対象者かあるいは労働安全衛生規則第13条第1項第2号（特定業務）該当者かでお答え下さい
- (9) 本症例の肝炎労働者に対してどのような指導をしていますか？（複数回答可）
① 特別な指導はしていない
② 定期的に経過観察、健康相談を行っている。
③ 就業制限をしている。（具体的に： ）
④ 配置転換を行った。（具体的に： ）

症例__番（下線には2番以降の通し番号を順にお入れ下さい）

(1) 年齢： ① 29歳以下 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50～59歳 ⑤ 60歳以上

(2) 性別： ① 男 ② 女

(3) 肝炎ウイルスは何型ですか？

① B型 ② C型

(4) 産業医（あるいは健康管理スタッフ）がB型・C型肝炎ウイルスに感染していることを最初にどのようにして知りましたか？

- ① 本人からの報告あるいは個人的健康相談
- ② 健康診断時の本人からの申告（既往歴、現病歴など）
- ③ 健康診断で肝臓の精密検査を指導され、医療機関を受診したため
- ④ 会社（事業所）における肝炎ウイルス検診
- ⑤ 会社担当者からの報告
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ 不明

(5) 現在の肝炎の病状をお答え下さい

① キャリア ② 慢性肝炎 ③ 肝硬変・肝癌

(6) 現在の肝炎以外の合併疾患についてお答え下さい

① なし ② 糖尿病 ③ 高脂血症
④ その他（ ）

(7) 本症例の労働者は現在、有害業務に従事していますか？

① はい ② いいえ

(8) (7)で「① はい」と答えた人だけ回答して下さい

有害業務を下記の中からお選びください（複数回答可）

- ① 有機溶剤（有機溶剤名： ）
- ② 特定化学物質（特定化学物質名： ）
- ③ 鉛 ④ 粉塵 ⑤ 電離放射線 ⑥ 暑熱寒冷 ⑦ 異常気圧
- ⑧ 振動 ⑨ 重量物 ⑩ 騒音 ⑪ 深夜業

特殊健康診断の対象者かあるいは労働安全衛生規則第13条第1項第2号（特定業務）該当者かでお答え下さい

(9) 本症例の肝炎労働者に対してどのような指導をしていますか？（複数回答可）

- ① 特別な指導はしていない
- ② 定期的に経過観察、健康相談を行っている。
- ③ 就業制限をしている。（具体的に： ）
- ④ 配置転換を行った。（具体的に： ）

症例__番（下線には2番以降の通し番号を順にお入れ下さい）

(1) 年齢： ① 29歳以下 ② 30～39歳 ③ 40～49歳 ④ 50～59歳 ⑤ 60歳以上

(2) 性別： ① 男 ② 女

(3) 肝炎ウイルスは何型ですか？

① B型 ② C型

(4) 産業医（あるいは健康管理スタッフ）がB型・C型肝炎ウイルスに感染していることを最初にどのようにして知りましたか？

- ① 本人からの報告あるいは個人的健康相談
- ② 健康診断時の本人からの申告（既往歴、現病歴など）
- ③ 健康診断で肝臓の精密検査を指導され、医療機関を受診したため
- ④ 会社（事業所）における肝炎ウイルス検診
- ⑤ 会社担当者からの報告
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ 不明

(5) 現在の肝炎の病状をお答え下さい

① キャリア ② 慢性肝炎 ③ 肝硬変・肝癌

(6) 現在の肝炎以外の合併疾患についてお答え下さい

① なし ② 糖尿病 ③ 高脂血症
④ その他（ ）

(7) 本症例の労働者は現在、有害業務に従事していますか？

① はい ② いいえ

(8) (7)で「① はい」と答えた人だけ回答して下さい

有害業務を下記の中からお選びください（複数回答可）

- ① 有機溶剤（有機溶剤名： ）
- ② 特定化学物質（特定化学物質名： ）
- ③ 鉛 ④ 粉塵 ⑤ 電離放射線 ⑥ 暑熱寒冷 ⑦ 異常気圧
- ⑧ 振動 ⑨ 重量物 ⑩ 騒音 ⑪ 深夜業

特殊健康診断の対象者かあるいは労働安全衛生規則第13条第1項第2号（特定業務）該当者かでお答え下さい

(9) 本症例の肝炎労働者に対してどのような指導をしていますか？（複数回答可）

- ① 特別な指導はしていない
- ② 定期的に経過観察、健康相談を行っている。
- ③ 就業制限をしている。（具体的に： ）
- ④ 配置転換を行った。（具体的に： ）